

令和8年度 家庭科年間指導計画【第3学年】

月	単元・題材・教材名	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4 5	幼児の生活と遊び 幼児の食事 幼児の遊び	幼児にとっての遊びの意義について理解している。	幼児の遊びの意義を踏まえて幼児との関わり方を考えられる。	幼児の特徴、幼児との関わりについて、課題解決に主体的に取り組もうとしている。
6 7 8 9 10	1編4章 日常食の調理	食品や調理用具などの安全と衛生に留意した管理について理解しているとともに、適切にできる。	健康に良い食習慣について考え、工夫している。 健康に良い食習慣について、実践を評価したり改善している。日常食の1食分の調理について問題を見いだして課題を設定している。	栄養の特徴、食品の選択や1食分の調理について課題解決に向け実践しようとしている。 栄養の特徴、食品の選択や1食分の調理について、課題解決に向けた一連の活動を振り返って評価したり改善しようとしている。
	2編3章 生活を豊かにするために ○被服製作 製作の計画 用具・道具の使い方 手縫い（基礎縫い） ミシンの基本操作	製作する物に適した材料や縫い方について理解している。 道具を安全に取り扱い製作が適切にできる。	資源や環境に配慮し、生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画や布を使った製作物を活用し、生活を豊かにできる。	資源や環境に配慮し、生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画や製作について、振り返り生活を工夫しようとしている。
	4編1章 私たちの消費生活と環境 自立した消費者になるために 販売と支払い方法 商品の選択と購入	さまざまな販売方法と支払方法の特徴について理解できる。 商品を適切に選択、購入、活用することができる。	物資・サービスの選択に必要な情報を活用した購入、自立した消費者としての責任ある消費行動について、身近な生活の中から問題を見だし、課題を設定している。	金銭の管理と購入、消費者の権利と責任について、課題解決に主体的に取り組もうとしている。
11	消費者被害から生活を守ろう 消費者トラブル 消費者を守る 法律や相談機関 クーリング・オフ制度	売買契約の仕組み、消費者被害の背景とその対応について理解する。 (中学生が陥りやすい消費者被害とその背景について知る。) 物資・サービスの選択に必要な情報の収集・整理が適切にできる。 自分や家族にとって身近な消費者トラブルの事例とその解決方法を理解できる。		
12	消費生活の権利と責任について考えよう	消費者の基本的な権利と責任、自分や家族の消費生活が環境や社会に及ぼす影響について理解している。		金銭の管理と購入、消費者の権利と責任について、課題解決に主体的に取り組もうとしている。
1 2 3	かしこい消費者になろう よりよい消費生活を目指して グリーンコンシューマー 買い物は投票		物資・サービスの選択に必要な情報を活用した購入、自立した消費者としての責任ある消費行動について考え、工夫している。 物資・サービスの選択に必要な情報を活用した購入、自立した消費者としての責任ある消費行動について実践したり、改善したりしている。 物資・サービスの選択に必要な情報を活用した購入、自立した消費者としての責任ある消費行動についての課題解決に向けた一連の活動について、考察したことを論理的に表現して	よりよい生活の実現に向けて家族の安全を考えた住空間の整え方について工夫し創造し実践しようとしている。

※教材や単元の特徴、進捗状況等によって変更となる場合があります。